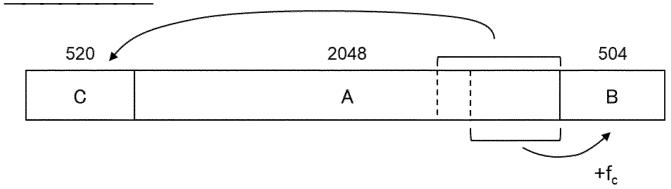
7　有効シンボルAは巡回シフトされた時間領域信号$A_n(t)$とし、有効シンボルAに、サイクリックプレフィックス及びサイクリックポストフィックス（B及びC）を付加する。最初のフレーム同期シンボルは別記１に示すCAB構造、残りのフレーム同期シンボルは別記２に示すBCA構造とする。

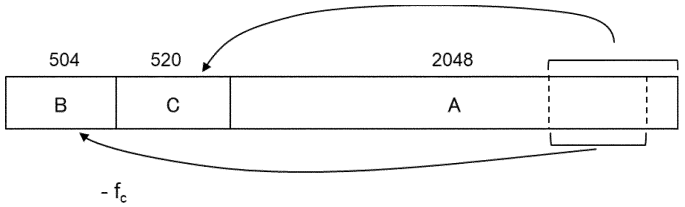
別記１　CAB構造

シンボル先頭に付加するCの領域は520クロック、シンボル末尾に付加するBの領域は504クロックとし、Bの領域はキャリア間隔に相当する正の周波数シフトを行う。ここでf_cはキャリア間隔を示す。



別記２　BCA構造

シンボル先頭に付加するBの領域は504クロックとし、キャリア間隔に相当する負の周波数シフトを行う。Cの領域は520クロックとする。ここでf_cはキャリア間隔を示す。



別表第二十号の四　搬送波を変調する信号の通信速度（第23条の８第５項及び第23条の９第９項関係）　［新設］

搬送波を変調する信号の通信速度Bは、次式に示すとおりとする。

$B=C/T_s$

1　フレーム同期信号区間におけるT_s及びCは以下のとおりとする。

T_s：第23条の８第３項に規定するシンボル期間長

C：第23条の８第４項に規定するキャリア数

2　TMCC区間におけるT_s及びCは以下のとおりとする。

T_s：第23条の９第７項に規定するシンボル期間長にガードインターバル期間長を加えたもの

C：以下に示す、伝送主シンボル及びTMCCシンボル、CPシンボル若しくはL　chシンボルに対応するキャリア数又はそれらの総数